

# 梨の花



## 市川市立稻荷木小学校

〒272-0024 市川市稲荷木 1-14-1 Tel 376-5961

<http://www.toukagi-syo.ichikawa-school.ed.jp>

### 「努力は報われるか？」について考える

校長 清田 博之

コロナ感染症の第5波が急激に収束に向かっています。学校生活も少しずつ平常を取り戻してきました。3日、4日の日・月で5年生は南房総市の大房岬（たいぶさみさき）に林間学校に行くことができました。素晴らしい思い出をつくることができました。これも、ウイルスという目に見えない敵と命がけで戦ってくださった多くの医療関係者の方々、関係者の皆様のおかげです。あらためて感謝申し上げます。また、来るかもしれない第6波に備えなければなりません。

（今回は、前期の終業式にあたり、全校の児童に向けたメッセージとさせていただきます。）

さて、前期も今日でちょうど半分、マラソンでいう折り返し地点を曲がった所です。前期の学校生活の中で、皆さんはどんなことを頑張ってきましたか。勉強や生活、スポーツ等に目標を立て努力を続けていると思います。それでも、「スポーツで努力しているけど、中々勝てない」とか「勉強を頑張っているけど成績が良くならない」などと悩むこともあるでしょう。今回は、「努力」ということについて一緒に考えてみたいと思います。

今年の夏、コロナ禍で行われた東京オリンピックは記憶に新しいと思います。皆さんはどんな選手や種目を応援しましたか。柔道やレスリングではたくさんのメダリストが誕生しました。女子バスケットボールやソフトボール、野球、体操、卓球、水泳の活躍も目立ちましたね。世界中のアスリートは、何年も努力を重ね、日々の生活も厳しく管理してオリンピックに臨みます。その中でメダルを取ることはとっても難しく、素晴らしいことだと思います。しかし、選手全員がオリンピックで成果を出すことを目指して努力する中、メダルを取ることで価値があるのでしょうか。入賞しない選手やメダルを取れなかった選手、早々と敗れた選手やチームは価値がなかったのでしょうか。私はそうは思いません。閉会式の時、多くの国の選手が楽しそうに行進していました。メダルを一つもとってない国もありましたが、みんな実に堂々としていました。その競技で敗れてもメダルを取らなくても、これまで続けた努力は本物だったのです。勝った選手だけが素晴らしいのではなく、敗れて新たな課題が見えたことや、負けて初めて敗れた選手の心を理解できたことが尊いと思うのです。インタビューを受けたほとんどの選手は、周囲の人たちの理解や支えに感謝の気持ちを述べていました。努力は、全ての人に対して謙虚な気持ちを思い出させるのです。

「努力は報われる」私はそう信じます。努力は、継続する強い心や頑張る意欲、人の痛みが分かる優しい心を育てます。たとえメダルや入賞には及ばなくても、それだけで人の成長に大いに報いることになります。だから成果が出なくても努力することには大きな意味があります。皆さんも後期に向け、もう一度努力する意味を考えてみてください。きっと、これまで見えなかった成長がみえてくるに違いありません。

## ☆ 5年 林間学校(大房岬少年自然の家・大山千枚田)を終えて☆

10月3日・4日に当初の予定より3か月遅れとなりましたが、5年生の林間学校に行ってきました。コロナ禍で「緊急事態宣言が解除されなければ実施できない」という状況の中、実施できるかどうか内心冷や汗ものでした。

1日目、道路の渋滞がなかった為に予定よりもだいぶ早く現地に到着することができました。水着に着替えて早速、「磯遊び」。自然の家の所長さんから丁寧な海辺の生き物たちや、「海の環境保全」についてのレクチャーを受け活動開始。



カニやヤドカリ、貝がら、小魚、ヒトデを夢中になってさがしていた子どもたち。10月にしては気温も高めで本当に楽しそうでした。

自然の家に戻った後、「入所の集い」を行い「フォトフレーム作り」に取りかかりました。

そして、夜はキャンプファイヤーをみんなで楽しみました。キャンプファイヤーは初めての経験の子が多く、幻想的な雰囲気？の中、「火の神」から「健康の火」と「友情の火」を受け取り、その後、歌やダンスで大盛り上がり。楽しいひと時を過ごしました。

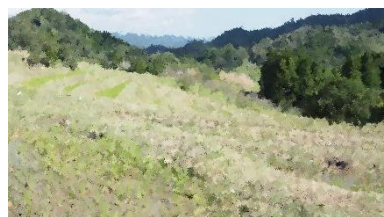


夜は、子どもたちも活動疲れか、どの部屋も比較的早く眠りについていました。密を避けるため一部屋の人数が少なかったのもしっかり眠れて埃もたらずよかった様です。



2日目は、自然の家を後にして鴨川市の「大山千枚田」に向かいました。

「東京から一番近い棚田」で生き物探しや「藍染め」を楽しみました。



◎今回の林間学校は、地理的に近く活動時間も多くとれること、魅力的な体験活動が多くできたこと、具合が悪くなる児童がほとんど出なかったなど大成功だと自負しています。